



武蔵村山市立第一小学校

学校だより

令和6年4月8日



開校 110 周年 みんなで創る「地区祭り」

校長 押本 純樹

右下の図は、今年度開校 110 周年を迎える本校のキャラクターです。新年度のスタートと同時にお知らせしたかったので、昨年度全校に募集をかけ、地域の周年実行委員会を通して、決定しました。原案作者は、今は2年生の木村ふたばさんです。学年や名前が分からないように候補作品を並べ、選考を行い、これがふさわしいと目に留まりました。

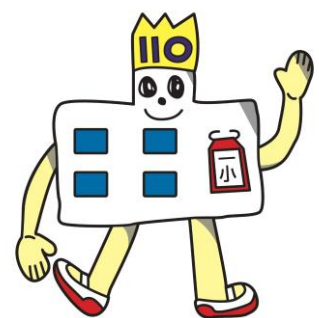
名前は、「がっちゃん」です。由来は、学校の「がっ」の発音と、もう一つあります。学校・保護者・地域みんなが開校 110 周年をガッチャンと電車が連結するように肩を組んでお祝いできたという思いを込めました。この思いは、本校が目指している **みんなで創る「誰一人取り残さない学校」** に通じています。

今年度のいくつかの周年行事を予定していますが、メイン行事として、110 周年地区祭りを10月19日（土）に校庭で行うことを計画しています。コロナ禍で地域のコミュニティが希薄になっているところに、本校の110周年が巡ってきたのです。

「何か新しいことを始めるきっかけにならないか。」と、周年実行委員長の波多野克典さんから提案がありました。本来なら記念式典を行った後に祝賀会という形で宴席を設けることが多いのですが、それでは参加者が限られ、みんなが楽しめず、みんなを取り残してしまいます。そこには、110周年目の学校に通っている主役の子供たちの姿はありません。関係者による祝賀会も大事ですが、それは大きな節目である100周年のときに行いました。今年度は、100ではなく、その上に10年を積み重ねた110周年です。何か違った取り組みがあってもいいはずです。せっかく110周年を迎えたのだから、もっとみんなでワイワイ楽しくできることはないかと考え、たどり着いたのがお祭りです。

昨年9月から月1回の実行委員会を開き、着々と準備を進めています。ステージを作って、何か楽しい催し物はできないかと考えています。出店やキッチンカーによる飲食もお祭りには欠かせません。PTAや地域の方々の御理解、御協力を得ながら、学校・保護者・地域がいっしょになって、賑やかにみんなで開校110周年をお祝いできる場になればと思っています。みんなで創ってきた伝統ある学校です。今回の地区祭りを通して、これまでの歴史を称え合い、みんなで楽しみませんか。

その姿は、ちょうど110周年の節目を迎えたこの地区の子供たちの健やかな成長にもつながるのではないのでしょうか。新年度が始まりました。どうぞよろしく願いいたします。



がっちゃん